		等專門学校	₹ │ 開講年度 │平成29年度 (2	- 1.27	授業科目	計算機アーキテクチャ			
科目基	礎情報								
科目番号	<u>1</u>	0054		科目区分	専門 / 必	修			
授業形態 授業				単位の種別と単位数	複 履修単位	: 2			
開設学科	1		股工学科	対象学年	4				
開設期 通年				週時間数	2	_			
教科書/教材 () (「基礎から学ぶコンピュータアーキテクチャ」遠藤敏夫(森北出版),参考書:「コンピュータの構成と讀 - ドウエアとソフトウエアのインタフェース」D・A・パターソンほか(日経BP社),「図解 コンピュータ Fャ入門 [第2版]」堀桂太郎(森北出版),ほか						
担当教員	Į	田添丈		g					
到達目	 標	•							
CPUの	内部構造を	理解し、コン	ンピュータ内部でのデータ表現ならびに	命令の実行方法を理	 解できる.				
レーブ	リック								
,, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベル	の目安	未到達レベルの目安			
評価項目1			コンピュータのハードウェアの主 要な技術を説明できる.	コンピュータのハ- 理を説明できる.		理を説明できない.			
評価項目2			コンピュータを構成する要素間で のデータの流れを説明できる.	コンピュータを構成 要素について説明 ⁻	<u> きる.</u>	要素について説明できない.			
评価項目			ハードウェアの設計を行うことが できる.	マイコンを用いた: することができる.	ノステムを構成	マイコンを用いたシステムを構成 することができない.			
学科の	到達目標	項目との関	科係						
教育方:	 法等								
既要		C P U の を基にこ	D内部構造を理解することによってコン コンピュータの基本的な構成や各部の動	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
・すべての 授業の進め方・方法 ・授業は記			の内容は、学習・教育到達目標(B) <専門>およびJABEE基準1(2)(d)(1)に対応する. 講義・輪講形式で行う、講義中は集中して聴講する. 計画」における各週の「到達目標」はこの授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする.						
			Oない. 8得亜件>学業成績で60占以上を取得	間,前期末,後期中 すること	•				
		(くく) てく標く詳細に記述しています。 こうしょう はいい はい	りない。 多得要件>学業成績で60点以上を取得 かじめ要求される基礎知識の範囲>2年 早構造とアルゴリズムとの関係が深い講 い、また,3年のディジタル回路との関 学習>授業で保証する学習時間と,予習 は学習時間の総計が90時間に相当する 事項>CPUの動作,機能向上のための 説明するので十分理解することを望む。 して知能の基礎となる教科である。	すること・ のマインロコンピュ の義となるのである・ 連も深いのであましま。 ・復習(中間試験、 学別一ズハを中心に ジャカーズハを中心に	- 夕基礎, 3年 枚科が十分理解 て理解できるよ 定期試験, 小テ	うかんはってほしい. ・ストのための学習も含む)に必要な ・一タの移動のタイミングについても			
	画	(くく) てく標く詳工 (はん) かんし (でん) でく 標く詳工 (は) できまれ (でん) できまれ (でん) できまれ (でん) できまれ (でん) できまれ (でん) できまれる (でん) できまない (でん) できない (でん) でん) できない (でん) でん) できない (でん) できない (でん) できない (でん) できない (でん) できない (でん) できない (でん) でん) できない (でん) できない (でん) できない (でん) できない (でん) できない (でん) でん) できない (でん) できない (でん) できない (でん) でん) できない (でん) できない (でん) できない (でん) できない (で	多得要件>学業成績で60点以上を取得からの要求される基礎知識の範囲>2年を関係が深い講のものでは、3年のでインタル回路と、3年のでインタル回路と、3年のでインタル回路と、予留と対策で保証する学習時間に相当する。1970年の一個では、1970年の一個では、1970年の一個では、1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個では、1970年の一のでは、1970年の一のでは、1970年の一個では、1970年の一のでは、1970年の一個では、1970年の一のでは、1970年のでは、1970年の一のでは、1970年のでは、1970	すること. のマイクロコンピュ 義となるので,この 連も深いのであわせ ・復習(中間試験, 学習内容ムを中心に また本教科は後に学	- 夕基礎, 3年 枚科が十分理解 と理解できるよ 主期試験, 小テ 学ぶ、命令や 習する計算機工	うかんはってほしい。 テストのための学習も含む)に必要な データの移動のタイミングについても 学,情報理論,数値解析,画像処理			
	画	(くく) てく標く詳細に記述しています。 こうしょう はいい はい	多得要件>学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲>2年界構造とアルゴリズムとの関係が深い講い、また、3年のディジタル回路との関発習と「実際ではする学習時間の終まが90時間に相よ、するでではできるできるできるできるできるできるできない。	すること. のマイクロコンピュ 義となるので, こので 連も深いのであわせ ・復習(中間試験, 学習内容である. メカニズムを中心に また本教科は後に学	- 夕基礎, 3年 牧科が十分理解 て理解できるよ 定期試験, 小テ 学ぶ. 命令やテ 学ぶ. 奇令や 関する計算機工 ごとの到達目標	(ラかんはってほしい。 (テストのための学習も含む) に必要な (一夕の移動のタイミングについても (学,情報理論,数値解析,画像処理			
	画	(くく) てく標く詳工 (はん) かんし (でん) でく 標く詳工 (は) できまれ (でん) できまれ (でん) できまれ (でん) できまれ (でん) できまれ (でん) できまれる (でん) できまない (でん) できない (でん) でん) できない (でん) でん) できない (でん) できない (でん) できない (でん) できない (でん) できない (でん) できない (でん) でん) できない (でん) できない (でん) できない (でん) できない (でん) できない (でん) でん) できない (でん) できない (でん) できない (でん) でん) できない (でん) できない (でん) できない (でん) できない (で	多得要件>学業成績で60点以上を取得からの要求される基礎知識の範囲>2年を関係が深い講のものでは、3年のでインタル回路と、3年のでインタル回路と、3年のでインタル回路と、予留と対策で保証する学習時間に相当する。1970年の一個では、1970年の一個では、1970年の一個では、1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個である。1970年の一個では、1970年の一のでは、1970年の一のでは、1970年の一個では、1970年の一のでは、1970年の一個では、1970年の一のでは、1970年のでは、1970年の一のでは、1970年のでは、1970	すること. のマイクロコンピュ の義となるので, こので 連も深いのであわせ・復習(中間試験, 学習内容である・メカニズムを中心にまた本教科は後に学	- 夕基礎, 3年 枚科が十分理解 て理解にきるよ 定期試験, 小テ 学ぶ、命令やテ 学ぶ、計算機工 ごとの到達目様 こことの到達目様	ラかんはってほしい。 ストのための学習も含む)に必要な 一夕の移動のタイミングについても 学,情報理論,数値解析,画像処理 要技術の発展の経緯について理解で			
	画	でくく、てく標く詳工 週 週	多得要件>学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲>2年を財務を表現のでは、3年のディジタル回路との関係が深い講学習と授業で保証する学習時間ととの関係が深い講学習を開始の総計が90時間に相当する事項>CPUの動作,機能向上のための説明するので十分理解することを望む、工知能の基礎となる教科である. 授業内容	すること. のマイクロコンピュ の表となるので、このせ 連も深いのであまり、 ・復習(やである。 メカニズムを中心にまた本教科は後に学 ア構成要素 2 3	- 夕基礎, 3年 牧科ができるよう て理解試験, 小やデ 学ぶ、命う算機工 ごとの到達目様 ごとの到達目様 ・ 基数変数の乗	ラかんはってほしい。 ストのための学習も含む)に必要な ータの移動のタイミングについても 学,情報理論,数値解析,画像処理 要技術の発展の経緯について理解で 数表現ができる。 会数表現ができる。			
	画	で (く 、 て く標 く 詳工)	多得要件>学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲>2年 内間をとアルゴリズムとの関係が深い講 がまた、3年のディジタル回路との関係が深い講 学習>授業で保証する学習時間と出する の関係 は 1 日本 の 1	すること・のマイクロコンピュのマイクロコンピュの義となるのであったのである。 はもっています できる できる できる できる できる できる できる できる から できる しょう	- 夕基礎, 3年 牧科ができるよう て理解試験, 小やデ 学ぶ、命う算機工 ごとの到達目様 ごとの到達目様 ・ 基数変数の乗	ラかんはってほしい。 「ストのための学習も含む)に必要な 「一夕の移動のタイミングについても学,情報理論,数値解析,画像処理 「要技術の発展の経緯について理解できる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。			
	画 lstQ	で (く く , て く 標 く 詳 工 週 週 1 週 2 週 2 回 1 回 2 回 2 回 1 回 2 回 1 回 2 回 2 回 2 回	多得要件>学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲>2年別で構造とアルゴリズムとの関係が深い講覧が、また、3年のディジタル回路との関係が深い講覧学習>授業で保証する学習時間と、予習を関係を受けるので十分理解することを望む、工知能の基礎となる教科である. 授業内容 シラバスについての説明、ハードウエ基数変換、負数表現、2進数の乗除算	すること. のマイクロコンピュの 義となるののであわせ、 連も深いのである. ・学習内容ムを中心に学 学メカニ本教科は後に学 ア構成要素 1 2 (つづき) 2 3	- タ基礎, 3年 教科ができるよう で世解試験, 令算機工 デバス 合う デジス の かっ デジス の かっ でとの かっ でとの かっ でとの かっ でとの かっ をある。 ・ 基数変数の 換乗 ・ 2 基数変数の 乗乗 ・ 2 を表する。	ラかんはってほしい。 「ストのための学習も含む)に必要な 「一夕の移動のタイミングについても学,情報理論,数値解析,画像処理 「要技術の発展の経緯について理解できる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。			
		でくく、てく標く詳工 週 週 週 週 3週	多得要件>学業成績で60点以上を取得かじめ要求される基礎知識の範囲>2年別構造とアルゴリズムとの関係が深い開発が、計算ない。また、3年のディジタル回路との関係が深い関党習>授業で保証する学習時間と、予習を関係をでは、1年の一個では、1年ののでは、1年ののでは、1年	すること. のマイクロコンピュの	- タ基礎 , 3年 教科ができ、1 や で理解試験、令算機 工 デ習するようでするようです。 では、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	ラかんはってほしい。 「ストのための学習も含む)に必要な 「一夕の移動のタイミングについても学,情報理論,数値解析,画像処理 「要技術の発展の経緯について理解できる。 「会数表現ができる。			
		V < , T < 標 < 詳工	多得要件>学業成績で60点以上を取得から要件>学業成績で60点以上を取得からあ要求される基礎知識の範囲>2年時間とアルゴリズムとの関係が深い講覧がまで保証する学習時間と相当する事項>で1990年の大学では、1990年の大学では、1990年の大学では、1990年の大学では、1990年の大学では、1990年の大学を開始を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	すること. のマイクロコンピュの 義となるのであわせ 連も深いのであまる. ・学習内容である. ・学習内容人を中心に学 メカニ本教科は後に学 ア構成要素 1 る (つづき) 2 3	タ基礎 , 3年間	ラかんはってほしい。 「ストのための学習も含む)に必要な 「一夕の移動のタイミングについても学,情報理論,数値解析,画像処理 「要技術の発展の経緯について理解できる。 「会数表現ができる。			
受業計		V < , T < 標 < 詳工	多得要件>学業成績で60点以上を取得からの要求される基礎知識の範囲>2年からあ要求される基礎知識の範囲>2年からまた、3年のディジタル回路との習識を受習時間の総計が90時間に相当する事項>CPUの動作,機能向上のための説明するので十分理解することを望むして知能の基礎となる教科である. 授業内容 シラバスについての説明.ハードウエ基数変換,負数表現,2進数の乗除算 基数変換,負数表現,2進数の乗除算 コンピュータ内部の数値表現 コンピュータ内部の記号表現	すること. のマイクロコンピュの表となるので、こので、こので、こので、こので、こので、このでは、一般でで、このででは、学習内容で、このでで、なりまた。本教科は後に学れて、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	- タ科が明明 (1) を関いて、	ラかんはってほしい。 「ストのための学習も含む)に必要な 「一夕の移動のタイミングについてもです,情報理論,数値解析,画像処理 「要技術の発展の経緯について理解できる。 「会数表現ができる。 「会算ができる。 「会別できる。 「会別できる。 「会別できる。 「会別できる。 「会別できる。 「会別できる。 「会別できる。 「会別できる。 「会別できる。 「会別できる。 「会別できる。 「会別できる。 「会別できる。 「会別できる。 「会別できる。 「会別			
受業計		V < , T < 標 < 詳工	多得要件>学業成績で60点以上を取得から要件>学業成績で60点以上を取得からあ要求される基礎知識の範囲>2年時間とアルゴリズムとの関係が深い講覧がまで保証する学習時間と相当する事項>で1990年の大学では、1990年の大学では、1990年の大学では、1990年の大学では、1990年の大学では、1990年の大学を開始を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	すること. のマインロコンピュの表となるので、こので、こので、こので、こので、このでは、できていいでは試験、学習内容である中心に学習に、できないではないではないでは、できないではないでは、できないでは、ではないでは、ではないでは、ではないでは、ではないでは、ではないでは、ではないでは、ではないではないでは、ではないではないではないでは、ではないでは、ではないでは、ではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは、ではないでは、ではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは、ではないで	- タ科が明明 (1) を関いて、	ラかんはってほしい。 「ストのための学習も含む)に必要な 「一夕の移動のタイミングについても学、情報理論、数値解析、画像処理 「要技術の発展の経緯について理解できる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会数表現ができる。 「会談表現ができる。 「会談表現がなる。 「会談表記述える。 「会談表記述える。 「会談表記述える。 「会談表述る。 「会談表述る。 「会談表述る。 「会談表述る。 「会談表述る。 「会談表述る。 「会談表述る。 「会談表述る。 「会談表述る。			
受業計		(多得要件>学業成績で60点以上を取得から要求される基礎知識の範囲>2年別では当時では10分割で10分割では10分割で10分割で10分割で10分割で10分割で10分割で10分割で10分割で	すること. のマインピュの表となって、このででは、このででは、このででは、このででは試験、学習内容である。 いった 本教 科 は 後 に 学	タ科が解析 で	ラかんはってほしい。 ストのための学習も含む)に必要な ニータの移動のタイミングについても 学、情報理論、数値解析、画像処理 要技術の発展の経緯について理解で 数表現ができる。 数表現ができる。 数表現ができる。 会算ができる。 会算ができる。 会算ができる。 会算ができる。 会算ができる。 会算ができる。 会算ができる。 会算ができる。 とないます。 とないまする とないます。 とないまする。 とないます。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないます。 とないまする。 とないまするいまする。 とないまする。 とないまする。 とないまする。 とないまするないまする。 とないまするないまする。			
受業計		V	多得要件>学業成績で60点以上を取得から要件>学業成績で60点以上を取得からあ要求される基礎知識の範囲> 2年 内	すること. のマインロコンピュの表となるのであること。 のマイなるのです。 連復習の容の中である。 ・学メカニ本教科は後に学 ア構成要素 「つづき) 「2 2 3 3 4 4 5 カカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカ	- タ科が解析	ラかんはってほしい。			
受業計		V	多得要件>学業成績で60点以上を取得からの要求される基礎知識の範囲>2年別構造とアルゴリズムとの関係が深い講覧が高また,3年のディジタル回路との関係が深い講覧を選回を受ける。10の動作,機能の上のための説明するので十分理解することを望む。上午の一次日本の一次日本の一次日本の一次日本の一次日本の一次日本の一次日本の一次日本	すること. のマインロコンピュの表となるのであること。 のマイなるのです。 連復習の容の中である。 ・学メカニ本教科は後に学 ア構成要素 「つづき) 「2 2 3 3 4 4 5 カカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカ	タ科が解する。 タ科が解する。 ク科が解する。 のフリンを変数を変数である。 のフリンを変数を変数である。 のフリンを変数を変数である。 を主える。 はでい。 はでい。 はでい。 はでいる。 はでいる。 はでいる。 はでいる。 はでい。 はでいる。 はでいる。 はでいる。	ラかんはってほしい。 ストのための学習も含む)に必要な ニータの移動のタイミングについても 学、情報理論、数値解析、画像処理 要技術の発展の経緯について理解で 意数表現ができる。 意数表現ができる。 意数表現ができる。 意数表現ができる。 意数表現ができる。 意数表現ができる。 意数表現ができる。 意数表現ができる。 を算ができる。 となっている。 基本を理解している。 した内容を説明し、諸量を求めるこの した内容を説明し、諸量を求めるこの			
受業計	1stQ	V	多得要件>学業成績で60点以上を取得からの要求される基礎知識の範囲>2年別では要求される基礎知識の範囲>2年別では当時では、3年のディジタル回路との関係が深い、関連を設定との関係が深い、関連を設定との関係が深い、関連を設定とのでは、3年のの動作の機能の上のためのが明するので十分理解することを望む、大田知能の基礎となる教科である。 授業内容 シラバスについての説明、ハードウエ基数変換、負数表現、2進数の乗除算 基数変換、負数表現、2進数の乗除算 コンピュータ内部の数値表現 コンピュータ内部の記号表現 論理関数(つづき) 中間試験 中間試験の解説と復習 コンピュータの論理回路(基本論理回コンピュータの論理回路(組み合わせコンピュータの論理回路(ででき)	すること・のでは、	タ科が解する。 タ科が解する。 ク科が解する。 クリカが解する。 クリカが解する。 のコートをは、 のコートをは、 のコートをは、 のので、 のの	ラかんはってほしい。 ストのための学習も含む)に必要な ニータの移動のタイミングについても 学、情報理論、数値解析、画像処理 要技術の発展の経緯について理解できる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 を算ができる。 を算ができる。 をなまれができる。 をなまればいてきる。 をなまればいてきる。 をなまればいてもない。 をはこればいる。 をはこればいてはいる。 をはこればいてはいる。 をはこればいてはいる。 をはこればいてはいる。 をはこればいてはいる。 をはこればいてはいる。 をはこればいてはいる。 をはこればいてはいてはいてはいてはいてはいてはいてはいてはいてはいている。 をはこればいてはいる。 をはこればいてはいてはいてはいてはいてはいてはいている。 をはこればいてはいている。			
受業計		V	多得要件>学業成績で60点以上を取得からから表示される基礎知識の範囲> 2年別のでは、2年間のでは、2年間のでは、2年間のでは、3年間のでは	すること・のでは、	タ科が解する。 タイの で と で と で と で と で と で と で と で と で と で	について理解している。 をはついて理解している。 をはついて理解している。 をはついて理解している。 をはついて理解している。 をはついて理解している。 をはついて理解している。 をはついて理解している。 をはついて理解している。 をはついて理解している。 をはついて理解している。 をはついて理解している。 をはついて理解している。 をはついて理解している。 をはついて理解している。 をはついて理解している。 をはついて理解している。 をはついて理解している。 をはついて理解している。 をはついて理解している。			
受業計	1stQ	V	多得要件>学業成績で60点以上を取得からか要求される基礎知識の範囲>2年別人の要求される基礎知識の範囲>2年別人との関係が深い、関係がよって、3年のディジタル回路との予留をとのでする。当時間に相当のの動作の機能の上のためのが明するので十分なる教科である。 授業内容 シラバスについての説明、ハードウエ 基数変換、負数表現、2進数の乗除算 コンピュータ内部の数値表現 コンピュータ内部の記号表現 論理関数(つづき)中間試験の解説と復習 コンピュータの論理回路(組み合わせコンピュータの論理回路(知み合わせコンピュータの論理回路(でごき)演算装置(算術加減算回路)演算装置(シフト演算)	すること・のでは、	タ科が解する。 タイの 1 年前 2 年前 2 年前 3 年前 3 年前 4 年前 4 年前 4 年前 4 年前 4 年前 4	ラかんはってほしい。 ストのための学習も含む)に必要な ニータの移動のタイミングについても 学、情報理論、数値解析、画像処理 を支援ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 を算ができる。 を算ができる。 を算ができる。 をないできる。 をないできないではないできないではないできないではないできないではないできないではないできないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは			
受業計	1stQ	V	多得要件>学業成績で60点以上を取得からか要求される基礎知識の範囲>2年別人の要求される基礎知識の範囲>2年別人との関係が深い、関係がよって、3年のディジタル回路との予留をとのでする。当時間に相当のの動作の機能の上のためのが明するので十分なる教科である。 授業内容 シラバスについての説明、ハードウエ 基数変換、負数表現、2進数の乗除算 コンピュータ内部の数値表現 コンピュータ内部の記号表現 論理関数(つづき)中間試験の解説と復習 コンピュータの論理回路(組み合わせコンピュータの論理回路(知み合わせコンピュータの論理回路(でごき)演算装置(算術加減算回路)演算装置(シフト演算)	すること・のでは、	タ科が解する。 タ科が解析 では、 一人 を関する。 タイが解析 で、 一人 を関する。 から、 一人 はいる。 は、 一人 はいる。 は、 一人 はいる。 は、 一人 は、	ラかんはってほしい。 ストのための学習も含む)に必要な ニータの移動のタイミングについても 学、情報理論、数値解析、画像処理 を技術の発展の経緯について理解できる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 を算ができる。 を算ができる。 を対象を理解している。 基本を理解している。 とた内容を説明し、諸量を求めること した内容を説明し、諸量を求めること となるについて理解している。 とについて理解している。			
受業計	1stQ	V < , T < 標 < 詳工	多得要件>学業成績で60点以上を取得からから表示される基礎知識の範囲> 2年別のでは、2年間のでは、2年間のでは、2年間のでは、3年間のでは	すること・のでは、	タ科が解する。 タ科が解析 では、 一人 を関する。 タイが解析 で、 一人 を関する。 から、 一人 はいる。 は、 一人 はいる。 は、 一人 はいる。 は、 一人 は、	ラかんはってほしい。 ストのための学習も含む)に必要な ニータの移動のタイミングについても 学、情報理論、数値解析、画像処理 を支援ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 を算ができる。 を算ができる。 を算ができる。 をないできる。 をないできないではないできないではないできないではないできないではないできないではないできないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは			
注意点 質業計	1stQ		多得要件>学業成績で60点以上を取得からか要求される基礎知識の範囲>2年別人の要求される基礎知識の範囲>2年別人との関係が深い、関係がよって、3年のディジタル回路との予留をとのでする。当時間に相当のの動作の機能の上のためのが明するので十分なる教科である。 授業内容 シラバスについての説明、ハードウエ 基数変換、負数表現、2進数の乗除算 コンピュータ内部の数値表現 コンピュータ内部の記号表現 論理関数(つづき)中間試験の解説と復習 コンピュータの論理回路(組み合わせコンピュータの論理回路(知み合わせコンピュータの論理回路(でごき)演算装置(算術加減算回路)演算装置(シフト演算)	すること・の表達を表示しています。 また	タ科解よテータ科解よテータ科解はテータ科解はテータ科解はテータ科解はテータ科解は、 一条 では、	ラかんはってほしい。 ストのための学習も含む)に必要な ニータの移動のタイミングについても 学、情報理論、数値解析、画像処理 を技術の発展の経緯について理解できる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 強数表現ができる。 を算ができる。 を算ができる。 を対象を理解している。 基本を理解している。 とた内容を説明し、諸量を求めること した内容を説明し、諸量を求めること となるについて理解している。 とについて理解している。			

	3週	機械語命令とアセン	ンブラ		7. 実効アドレ 8. アセンブリ わかる.	スについて理解 言語で記述され	している. たプログラムの流れが				
	4週	COMMETIの仕様			7. 実効アドレスについて理解している. 8. アセンブリ言語で記述されたプログラムの流れが わかる.						
	5週	機械語命令			7. 実効アドレスについて理解している. 8. アセンブリ言語で記述されたプログラムの流れが わかる.						
	6週	機械語命令(つづる	≛)		7. 実効アドレスについて理解している. 8. アセンブリ言語で記述されたプログラムの流れが わかる.						
	7週	COMMETII に関する問題演習			7. 実効アドレスについて理解している. 8. アセンブリ言語で記述されたプログラムの流れが わかる.						
	8週	中間試験			これまでに学習 ができる.	これまでに学習した内容を説明し、諸量を求めることができる。					
	9週	制御アーキテクチャ			9. コンピュータの基本構成を説明できる. 10. 命令読み出しサイクルの動作を理解している. 11. パイプライン処理の動作原理を理解している.						
	10週	命令実行の流れ			9. コンピュータの基本構成を説明できる. 10. 命令読み出しサイクルの動作を理解している. 11. パイプライン処理の動作原理を理解している.						
	11週	命令実行の流れ(つづき)			9. コンピュータの基本構成を説明できる. 10. 命令読み出しサイクルの動作を理解している. 11. パイプライン処理の動作原理を理解している.						
4thQ	12週	入出力操作			9. コンピュータの基本構成を説明できる. 10. 命令読み出しサイクルの動作を理解している. 11. パイプライン処理の動作原理を理解している.						
	13週	割り込み操作			9. コンピュータの基本構成を説明できる. 10. 命令読み出しサイクルの動作を理解している. 11. パイプライン処理の動作原理を理解している.						
	14週	割り込み操作(つづき)			9. コンピュータの基本構成を説明できる. 10. 命令読み出しサイクルの動作を理解している. 11. パイプライン処理の動作原理を理解している.						
	15週	制御アーキテクチャに関する問題演習			9. コンピュータの基本構成を説明できる. 10. 命令読み出しサイクルの動作を理解している. 11. パイプライン処理の動作原理を理解している.						
	16週										
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標											
分類 分野 学習内容 学習内容の到達目標 到達レベル 授業週											
評価割合											
総合評価割合 100		課題 0	相互評価 0	態度 0	発表 	その他 0	合計 100				
配点 100	~	0	0	0	0	0	100				